

モアレ対策はお任せください！

Ver3.0

PictChanger

コミックや線画の出力サイズ変更や印刷機の変更で起きるモアレを軽減

PictChangerは、画像の解像度や倍率を元画像の品質を維持しつつ変換することができるツールで、線画でも縮小によるモアレを抑止することができます。

大幅に機能を拡張してVer3.0がリリースされました。何卒この機会にPictChangerをお試しください。

Ver3.0 の特徴

1. ホットフォルダの処理速度が大幅に向上しました

Ver3.0では、ホットフォルダを使った複数画像の処理が3.3倍高速になりました。

これまでのバージョンでは、ホットフォルダの処理スレッドが2つに固定されていましたが、本バージョンからは、最大スレッド数を1～16の間で自由に設定することができるようになりました。ホットフォルダの最大処理スレッド数を増やすことにより、高速にホットフォルダ処理を行うことができます。

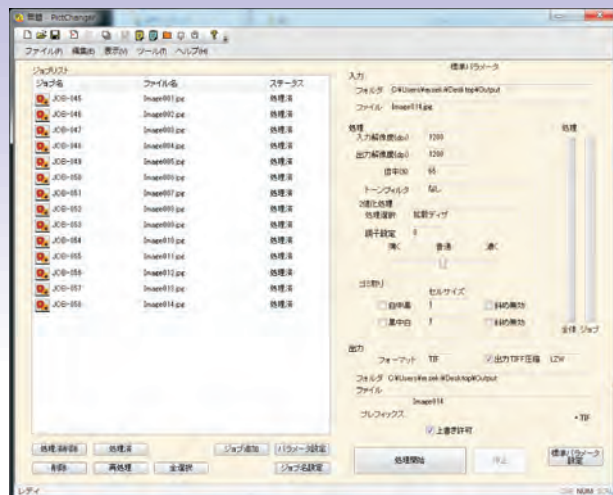
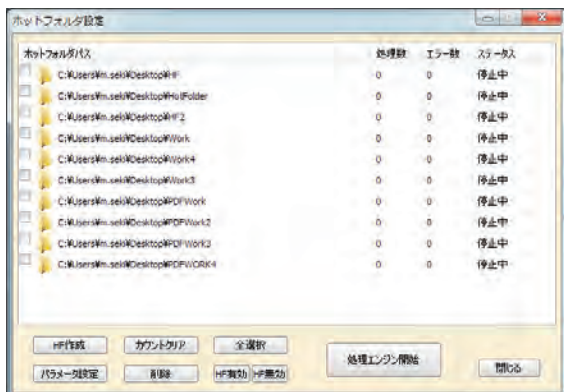
これにより今まで3時間かかっていた処理は約1時間で終了できるようになりました。

2. PDF出力できるようになりました

いままで出力はTIF形式だけでしたが、Ver 3 からPDFによる出力が可能になりました。TIFで出力するかPDFで出力するかパラメータで選択することができます。

3. ホットフォルダが無制限につくれます

ホットフォルダをダイナミックに作成できるようになったため、フォルダ数の上限がなくなりました。



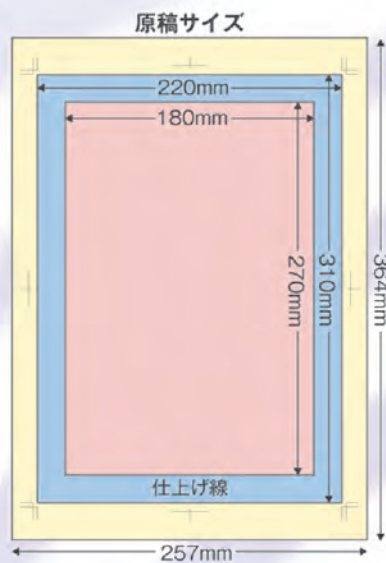
4. その他の変更点

- ジョブリストの定常記憶
- ディザ系処理の事前2値化処理
- スクリーニング万線処理
- ポップアップメニュー
- 複数選択でのパラメータ設定
- 設定に「コピー／貼付け」機能



Digital Synapse

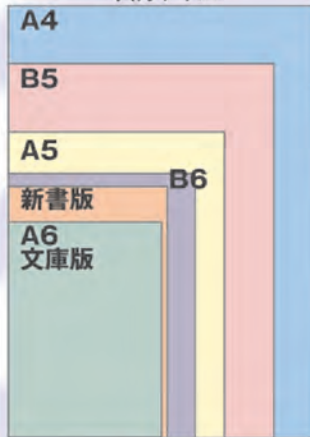
モアレはなぜ起こるのでしょうか？



変倍(縮小)



出力サイズ



原因 1

・入出力機の解像度の違いによって起きる

原因 2

・入力データを変倍(縮小)する時、規則正しい網点が間引きされ不規則な網点模様になる

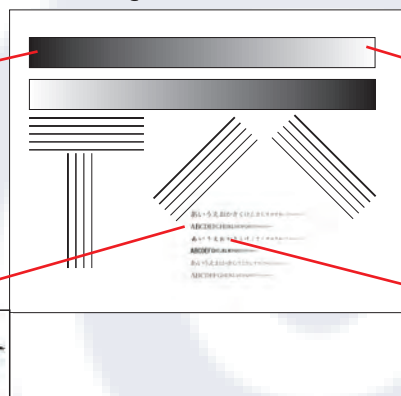
原因 3

・入力時に適切な解像度で正確にスキャンされない場合、網点同士の相互干渉によって起きる。

モアレイメージ



PictChanger (ディザ拡散フィルタ)



くけこさしす

BCDEFG

PictChangerは出力サイズ変更(変倍)や、出力機の変更(解像度)に対応します

PictChanger 画像変換

【入力形式】	・多値, 2値 JPG, TIFF (圧縮/日圧縮), PSD※	・トーンフィルタ 「なし」	「かぶり除去(強)」
【出力形式】	・2値 TIFF (圧縮[LZW, G4]/非圧縮), PDF	「コントラストをあげる」	「カブリ除去(弱)」
【入出力処理指定】	・1ジョブにつき1ファイルが対応	「コントラストを下げる」	
	・出力フォルダ指定	「全体に明るく」	
	・全ジョブ一括処理	・2値化処理選択	正規、チェーン、エンハンス、文字対応ディザ、 拡散ディザ、スクリーニング(網点、万線)
【アフィン変換/2値化】	・入力解像度(dpi)		事前2値化付処理(文字対応ディザ、拡散ディザ)
	・出力解像度(dpi)		
	・サイズ変換(倍率%)	・調子設定	標準を中心に±7ステップ

動作環境 ・Windows7/8.1/10 x64 ・メモリ16GB以上 ・HDD 500GB以上

※PSDはフィニッシュデータで、全てのレイアを結合したものに限りませす。複数のレイアがあった場合エラーとなります。

総代理店

クリアウィンテック 小堤仁

TEL : 070-6969-1820

Mail : otsuzumi@kuriawintech.com

開発元

デジタル・シナプス

<https://www.digitalsynapse.jp>